

## 目 录

<b>第一章 新生儿疾病</b> .....	(1)
第一节 新生儿窒息 .....	(1)
第二节 新生儿硬肿症 .....	(3)
第三节 新生儿 TORCH 感染 .....	(6)
第四节 新生儿出血症 .....	(9)
第五节 新生儿黄疸 .....	(10)
第六节 新生儿休克 .....	(15)
第七节 新生儿破伤风 .....	(18)
第八节 新生儿肺透明膜病 .....	(20)
第九节 新生儿胎粪吸入综合征 .....	(21)
第十节 新生儿感染性肺炎 .....	(22)
第十一节 新生儿呼吸衰竭 .....	(24)
第十二节 新生儿腹泻 .....	(26)
第十三节 新生儿坏死性小肠结肠炎 .....	(28)
第十四节 新生儿心力衰竭 .....	(31)
第十五节 新生儿败血症 .....	(34)
第十六节 新生儿化脓性脑膜炎 .....	(37)
第十七节 新生儿缺氧缺血性脑病 .....	(39)
第十八节 新生儿颅内出血 .....	(41)
第十九节 新生儿低血糖症 .....	(43)
第二十节 新生儿高血糖症 .....	(44)
第二十一节 新生儿低钙血症 .....	(45)
第二十二节 新生儿低镁血症 .....	(46)

第二十三节	新生儿低钠血症 .....	(47)
第二十四节	新生儿高钠血症 .....	(48)
<b>第二章 呼吸系统疾病</b>	.....	(50)
第一节	慢性鼻窦炎 .....	(50)
第二节	急性支气管炎 .....	(51)
第三节	毛细支气管炎 .....	(52)
第四节	支气管哮喘 .....	(53)
第五节	肺炎 .....	(57)
第六节	呼吸道合胞病毒肺炎 .....	(60)
第七节	腺病毒肺炎 .....	(61)
第八节	支原体肺炎 .....	(62)
第九节	金黄色葡萄球菌肺炎 .....	(64)
第十节	绿脓杆菌肺炎 .....	(65)
第十一节	肺不张 .....	(66)
第十二节	肺脓肿 .....	(67)
第十三节	气胸 .....	(69)
第十四节	脓胸和脓气胸 .....	(70)
第十五节	支气管扩张症 .....	(71)
第十六节	Kartagener 综合征 .....	(73)
第十七节	肺含铁血黄素沉着症 .....	(74)
第十八节	特发性脱屑性间质性肺泡炎 .....	(76)
<b>第三章 心血管系统疾病</b>	.....	(78)
第一节	阵发性室上性心动过速 .....	(78)
第二节	阵发性室性心动过速 .....	(78)
第三节	房室传导阻滞 .....	(80)
第四节	心包炎和心包填塞 .....	(80)
第五节	心力衰竭 .....	(81)
第六节	泵衰竭 .....	(83)

第七节	动脉导管未闭 .....	(84)
第八节	房间隔缺损（继发孔） .....	(85)
第九节	室间隔缺损 .....	(86)
第十节	法洛四联症 .....	(87)
第十一节	肺动脉瓣狭窄 .....	(88)
第十二节	艾森曼格综合征 .....	(88)
<b>第四章</b>	<b>泌尿系统疾病 .....</b>	<b>(90)</b>
第一节	急性肾小球肾炎 .....	(90)
第二节	急进性肾小球肾炎 .....	(92)
第三节	血尿 .....	(94)
第四节	原发性肾病综合征 .....	(96)
第五节	狼疮性肾炎 .....	(101)
第六节	过敏性紫癜性肾炎 .....	(106)
第七节	急性肾功能衰竭 .....	(109)
第八节	慢性肾功能衰竭 .....	(113)
第九节	腹膜透析 .....	(116)
第十节	肾小管酸中毒 .....	(118)
第十一节	泌尿系统感染 .....	(120)
<b>第五章</b>	<b>消化系统疾病 .....</b>	<b>(123)</b>
	婴幼儿腹泻 .....	(123)
<b>第六章</b>	<b>血液系统疾病 .....</b>	<b>(126)</b>
第一节	营养性贫血 .....	(126)
第二节	感染性贫血 .....	(130)
第三节	溶血性贫血 .....	(131)
第四节	再生障碍性贫血 .....	(135)
第五节	特发性血小板减少性紫癜（ITP） .....	(138)
第六节	血友病 .....	(140)
第七节	急性白血病 .....	(144)

第八节	慢性粒细胞白血病	(151)
第九节	恶性组织细胞病	(153)
<b>第七章 内分泌系统及代谢疾病</b>		<b>(155)</b>
第一节	垂体性侏儒	(155)
第二节	垂体性尿崩症	(157)
第三节	抗利尿激素分泌异常综合征(SIADH)	(159)
第四节	甲状腺机能亢进症	(159)
第五节	甲状腺功能减低症	(161)
第六节	甲状腺炎	(163)
第七节	单纯性甲状腺肿	(166)
第八节	甲状旁腺功能亢进症	(167)
第九节	甲状旁腺功能减低症	(168)
第十节	皮质醇增多症	(170)
第十一节	肾上腺皮质功能减退症	(172)
第十二节	嗜铬细胞瘤	(173)
第十三节	先天性肾上腺皮质增生症	(174)
第十四节	性早熟	(176)
第十五节	性腺发育迟缓	(179)
第十六节	糖尿病	(181)
第十七节	低血糖	(183)
第十八节	单纯性肥胖病	(185)
第十九节	苯丙酮酸尿症	(187)
第二十节	同型胱氨酸尿症	(189)
第二十一节	枫糖尿病	(190)
第二十二节	糖原代谢病Ⅰ型	(192)
第二十三节	半乳糖血症	(194)
第二十四节	黏多糖病	(195)
第二十五节	先天性高脂蛋白血症	(197)

<b>第八章 神经系统疾病</b>	.....	(201)
第一节 小儿抽动症综合征	.....	(201)
第二节 急性小脑共济失调	.....	(203)
第三节 面神经炎	.....	(204)
第四节 癫痫	.....	(207)
第五节 急性感染性多发性神经根炎	.....	(210)
第六节 脊髓病	.....	(213)
第七节 进行性脊髓性肌萎缩症	.....	(215)
第八节 痉挛性截瘫	.....	(217)
第九节 脑性瘫痪	.....	(218)
第十节 化脓性脑膜炎	.....	(220)
第十一节 颅内压增高症	.....	(222)
第十二节 急性病毒性脑炎	.....	(225)
第十三节 脑病合并内脏脂肪变性	.....	(227)
第十四节 小儿急性偏瘫	.....	(228)
第十五节 进行性肌营养不良	.....	(229)
第十六节 小儿头痛	.....	(232)
<b>第九章 结缔组织病</b>	.....	(236)
第一节 幼年类风湿病	.....	(236)
第二节 系统性红斑狼疮	.....	(238)
第三节 皮肌炎和多发性肌炎	.....	(240)
第四节 硬皮病	.....	(242)
第五节 结节性多发性动脉炎	.....	(243)
第六节 多发性大动脉炎	.....	(245)
第七节 皮肤黏膜淋巴结综合征	.....	(247)
<b>第十章 小儿急救</b>	.....	(249)
第一节 心脏骤停	.....	(249)
第二节 呼吸衰竭	.....	(250)

第三节	感染性休克	(252)
第四节	有机磷农药中毒	(253)
第五节	强酸类中毒	(254)
第六节	强碱类中毒	(255)
<b>第十一章</b>	<b>儿童精神及心理疾病</b>	(256)
第一节	儿童孤独症	(256)
第二节	多动性障碍	(258)
第三节	精神发育迟滞	(259)
第四节	抽动—秽语综合征	(261)
<b>第十二章</b>	<b>外科疾病</b>	(263)
第一节	疖	(263)
第二节	急性淋巴结炎	(263)
第三节	髂窝淋巴结炎及髂窝脓肿	(264)
第四节	腮源性囊肿与瘘	(266)
第五节	甲状舌骨囊肿及瘘管	(266)
第六节	急性阑尾炎	(267)
第七节	原发性腹膜炎	(270)
第八节	脐部疾患	(272)
第九节	脐窦	(272)
第十节	脐茸	(273)
第十一节	卵黄管囊肿	(273)
第十二节	美克耳憩室	(274)
第十三节	淋巴管瘤	(275)
第十四节	血管瘤	(276)
第十五节	肝母细胞瘤	(277)
第十六节	畸胎瘤	(278)
第十七节	卵巢囊肿与扭转	(279)
第十八节	睾丸肿瘤	(279)

第十九节	肾母细胞瘤	(281)
第二十节	肠梗阻	(284)
第二十一节	急性胰腺炎	(289)
第二十二节	胆道蛔虫症	(290)
第二十三节	胆总管囊肿	(291)
第二十四节	婴儿和儿童先天性巨结肠	(292)
第二十五节	直肠及结肠息肉	(293)
第二十六节	腹部外伤	(295)
第二十七节	肾损伤	(298)
第二十八节	尿道损伤	(300)
第二十九节	头皮损伤	(301)
第三十节	颅骨骨折	(303)
第三十一节	脑损伤	(304)
第三十二节	急性硬膜外血肿	(306)
第三十三节	急性硬膜下血肿	(307)
第三十四节	脑内血肿	(308)
第三十五节	腹股沟斜疝	(309)
第三十六节	嵌顿性腹股沟斜疝	(310)
第三十七节	睾丸精索鞘膜积液	(311)
第三十八节	包茎	(312)
第三十九节	嵌顿包茎	(314)
第四十节	隐睾	(315)
第四十一节	睾丸扭转	(317)
第四十二节	输尿管异位开口	(319)
第四十三节	肾盂输尿管连接部梗阻	(320)
第四十四节	膀胱输尿管逆流	(322)
第四十五节	后尿道瓣膜	(323)
第四十六节	膀胱尿道结石	(324)

第四十七节	尿道下裂	(326)
第四十八节	尿道上裂	(328)
第四十九节	两性畸形	(328)
第五十节	新生儿皮下坏疽	(329)
第五十一节	先天性食管闭锁	(331)
第五十二节	先天性膈疝	(332)
第五十三节	先天性胆道闭锁	(334)
第五十四节	先天性肥厚性幽门狭窄	(336)
第五十五节	新生儿十二指肠梗阻	(338)
第五十六节	先天性肠回转不全	(340)
第五十七节	脐膨出	(342)
第五十八节	脐疝	(343)
第五十九节	腹裂	(344)
第六十节	胎粪性腹膜炎	(345)
第六十一节	新生儿先天性巨结肠	(347)
第六十二节	先天性肛门直肠畸形	(351)
第六十三节	脊膜膨出和脊髓脊膜膨出	(354)
第六十四节	脑膜膨出与脑膜膨出	(356)
第六十五节	颅内蛛网膜囊肿	(357)
第六十六节	髓母细胞瘤	(357)
第六十七节	急性脓胸	(358)
第六十八节	先天性肺囊肿	(359)
第六十九节	纵隔肿瘤	(361)
第七十节	缩窄性心包炎	(363)
第七十一节	瘢痕性食管狭窄	(364)
第七十二节	室间隔缺损	(366)
第七十三节	房间隔缺损	(367)
第七十四节	动脉导管未闭	(369)

第七十五节	肺动脉瓣狭窄	(371)
第七十六节	法洛四联症	(372)
第七十七节	急性化脓性骨髓炎	(374)
第七十八节	急性化脓性关节炎	(376)
第七十九节	急性暂时性髋关节滑膜炎	(378)
第八十节	先天性肌性斜颈	(379)
第八十一节	先天性髋关节脱位	(380)
第八十二节	臀肌挛缩症	(381)
第八十三节	脑性瘫痪	(383)
第八十四节	先天性垂直距骨	(384)
第八十五节	先天性马蹄足内翻	(386)
第八十六节	拇指狭窄性腱鞘炎	(387)
第八十七节	多指(趾)畸形	(388)
第八十八节	并指(趾)畸形	(388)
第八十九节	节股骨干骨折	(389)
第九十节	小儿烧伤(烫伤)	(389)
第九十一节	漏斗胸	(401)
第九十二节	鸡胸	(402)
<b>第十三章</b>	<b>耳鼻喉科疾病</b>	(404)
第一节	小儿听力损害的诊断	(404)
第二节	小儿前庭性眩晕	(408)
第三节	小儿化脓性中耳炎	(413)
第四节	分泌性中耳炎	(416)
第五节	鼓室成形术	(419)
第六节	面神经麻痹	(421)
第七节	小儿先天性耳瘘管	(424)
第八节	儿童常年性鼻炎	(425)
第九节	小儿鼻窦炎	(427)

第十节	先天性后鼻孔闭锁	(429)
第十一节	慢性扁桃体炎	(431)
第十二节	川崎氏病	(432)
第十三节	小儿急性喉炎	(434)
第十四节	气管及支气管异物	(436)
第十五节	小儿声音嘶哑	(439)
第十六节	腐蚀性食管炎	(442)
第十七节	小儿头颈部血管瘤	(444)
第十八节	婴幼儿上颌骨骨髓炎	(446)
<b>第十四章</b>	<b>眼科疾病</b>	(449)
第一节	眼脸疾病	(449)
第二节	新生儿泪囊炎	(451)
第三节	结膜疾病	(452)
第四节	角膜疾病	(455)
第五节	斜视	(457)
第六节	弱视	(459)
第七节	屈光不正	(461)
第八节	虹膜睫状体炎	(463)
第九节	脉络膜炎	(464)
第十节	弓形体性葡萄膜炎	(464)
第十一节	先天性白内障	(465)
第十二节	马凡氏综合征	(466)
第十三节	青光眼	(466)
第十四节	眼底疾病	(468)
第十五节	皮样囊肿及皮样瘤	(471)
第十六节	血管瘤	(472)
第十七节	化学伤	(473)

<b>第十五章 B 超常见疾病诊疗常规</b>	.....	(474)
第一节 头颅疾病超声检查	.....	(474)
第二节 肝脏疾病超声诊断要点	.....	(475)
第三节 脾脏声图像诊断要点	.....	(478)
第四节 肾上腺出血超声图像	.....	(479)
第五节 肠套叠超声图像	.....	(479)
第六节 先天性肥大性幽门狭窄超声图像	.....	(479)
第七节 盆腔脓肿超声诊断	.....	(479)
第八节 甲状腺及甲状旁腺疾病超声检查	.....	(480)

# 第一章 新生儿疾病

## 第一节 新生儿窒息

### 【概述】

新生儿窒息是指胎儿在宫内或娩出过程中由多种原因引起的呼吸功能不全或气体交换障碍，在娩出后1分钟内无呼吸或未建立正规的呼吸运动者，即为新生儿窒息。是新生儿常见的症状，也是新生儿死亡或后遗伤残的主要原因。

### 【诊断要点】

#### 1. 阿氏评分法

阿氏评分法（Apgar, score）仍是目前对窒息的诊断、分度及判断预后的较好指标，见表1-1。

表1-1 Apgar评分标准

体征	出生后1分钟内			5分钟	10分钟
	0分	1分	2分	二评	三评
心率次数/分	0	<100	>100		
呼吸	无	呼吸浅表呼吸弱	呼吸佳哭声响		
肌张力	松弛	四肢屈曲	四肢活动好		
弹足底或导管插鼻反应	无反应	有些动作	反应好		
皮肤颜色	紫或白	躯干红、四肢紫	全身红		
总分				分	分

## 2. 窒息的分度

出生后1分钟评分：0~3分为重度窒息；4~7分为轻度窒息；若生后1分钟评分8~10分而5分钟又降至≤6分者也属重度窒息。出生后1分钟评分可作为诊断和分度的依据，再以指导复苏抢救。5分钟评分反应中枢抑制的程度，可预测神经系统的异常，与远期预后密切相关。

## 3. 临床表现

宫内窒息首先表现为胎动增多，胎心增快，进展为抑制期胎心减慢或不规则，最后消失。肛门括约肌松弛，排出胎粪，羊水被胎粪污染。

新生儿娩出后有窒息者，经过积极抢救多数患儿能建立正常呼吸，皮肤转红，少数重症呈休克状态，心率减慢→减弱→消失。呼吸浅表不规则甚至消失，肌张力增强→减弱→消失，肤色由青紫变苍白，体温不升，四肢厥冷，也可导致颅内出血、缺血、缺氧性脑病，坏死性小肠结肠炎，DIC等。

## 4. 辅助检查

血气分析示低氧血症及混合性酸中毒， $\text{pH} \leq 7.2$ 示缺氧严重、低血糖、低血钙、低血钠、高血钾、X线胸片见肺不张、肺气肿或肺炎、心电图主要表现为P-R间期延长，QRS波群增宽及振幅降低，T波升高及ST段下降。

## 【治疗】

(1) 清理呼吸道：立即用吸痰管吸净口、鼻、咽部分泌物，要求操作迅速在1分钟内完成，确保呼吸道通畅。

(2) 氧疗：面罩或头罩吸氧，浓度一般40%~60%，若心音微弱，发绀严重者或面罩加压给氧2分钟后呼吸心跳仍未恢复，应立即行气管插管或用CPAP(无创机械通气)。

(3) 心率在60次/分钟以下可静注0.1%肾上腺素0.1ml/kg。若血压<6.6kPa，有休克时可给多巴胺5~10mg加入125ml

液体 5~6 滴/(kg·min)。

- (4) 纠正酸中毒：静注 5% 碳酸氢钠 4~5ml/kg。
- (5) 防止脑水肿：中~重度窒息可适当给予甘露醇。
- (6) 兴奋呼吸中枢药物：氨茶碱：负荷量 5mg/kg。
- (7) 如存在持续胎儿循环或肺动脉高压用妥拉苏林 0.5~1mg/kg 静脉滴注。

## 第二节 新生儿硬肿症

### 【概述】

新生儿硬肿症为一症候群，系新生儿时期多种原因引起的皮肤和皮下脂肪变硬及水肿，多发生在寒冷季节，也可发生在严重的败血症过程中而无季节性，常伴低体温和多器官功能衰竭，单纯因受冷所致者称新生儿寒冷损伤综合征。以早产、窒息、感染的新生儿为常见，是新生儿死亡的重疾病之一。

#### 1. 病史

有发病处于寒冷季节，环境温度过低或保温不当史，严重感染，早产儿或足月小样儿，窒息、产伤等所致的摄入不足或能量供给低下病史。

#### 2. 临床表现

- (1) 全身表现：不吃、不哭、不动、体温不升。
- (2) 硬肿：为对称性，好发部位以此为双下肢、臀、面颊、双上肢、背、腹、胸部等。
- (3) 肤色：开始潮红如熟虾，严重时因循环障碍呈苍白或发绀，黄疸病人呈蜡黄色。
- (4) 休克及 DIC：多见于重症硬肿症，表现为低血压、毛细血管充盈时间延长、股动脉搏动微弱，心音低钝，甚至有肾功能损害，呼吸困难如昏迷，临终前常有肺、消化道出血，按全国

新生儿会议标准，新生儿硬肿症病情分度见表 1-2。

表 1-2 新生儿硬肿症病情分度

程度	硬肿范围*	全身一般情况	肛温	腋 - 肛温差	休克、肺出血、DIC
轻	<30%	稍差	≥35℃	正	无
中	~50%	较差	<35℃	0 ~ 正	无、轻
重	>50%	极差	<35℃ <30℃	负	有

\* 头颈部 20%，双上肢 18%，前胸及腹部 14%，臀部及腰骶部 14%，双下肢 26%。

### 【辅助诊断】

- (1) 血小板减少。
- (2) 凝血障碍：重症凝血酶原时间延长，DIC 时，凝血活酶时间延长，3P 试验阳性，纤维蛋白原降低。
- (3) 低血糖。
- (4) 心电图：P - R \ S - T 段延长，低电压，T 波低平或倒置，ST 段下降。
- (5) 血气分析：pH 下降，PaO<sub>2</sub> 降低，PaCO<sub>2</sub> 增高。
- (6) 肾功能：重症患者 BUN、Bcr 血渗透压增高。

### 【鉴别诊断】

1. 新生儿水肿
  - (1) 生理性：正常女婴可有暂时性局部阴唇水肿；正常新生儿，尤其是早产儿由于钠、氯排泄功能不足可有足肿、头皮、眼睑水肿。
  - (2) 先天性心脏病或心功能不全。
  - (3) 低蛋白血症：有宫内或生后营养不良史。
2. 新生儿皮下坏疽
 

由金黄色葡萄球菌、链球菌感染引起的局部皮下组织广泛坏

死。多见于受压部位，以骶尾部、背部、臀部多见，皮肤红硬，边缘不清，中央暗红，有漂浮感，发展迅速，常伴全身中毒症状，细菌培养阳性。

### 3. 皮下脂肪坏死

由创伤引起脂肪细胞损伤，患处皮损发硬、边界清楚，继之皮肤萎陷很少扩展，全身健康良好，预后好。

## 【治疗】

### (一) 复温

(1) 缓慢复温法：多用于轻症患者，温水浴后将新生儿用预暖衣被包裹，置25℃温室中，可加用热水袋使其体温升至35℃，使其在12~24小时使体温恢复正常。

(2) 快速复温法：多用于重症病人，将病人置27℃暖箱中，每小时升高1℃箱温，直到体温恢复；也可将患儿置于高于体温1℃的远红外暖床复温，约30分钟升高体温1℃，待体温35℃再移至暖箱保温，控制适中温度。值得注意的是快速复温易引起缺氧、出血等，故应注意监护。

### (二) 供给足够热卡

开始50卡/(kg·d)<sup>-1</sup>，随体温上升增至100~200卡/(kg·d)<sup>-1</sup>，早期应用肠道外静脉营养，待消化功能恢复后再逐渐加奶。

### (三) 药物治疗

#### 1. DIC的治疗：应抓紧在高凝期治疗

##### 肝素：

(1) 剂量：0.25~1mg/kg·次，6~8小时1次，随病情好转延长时间和减少用量。

(2) 指征：有重度微循环障碍；肛温≤34℃；收缩压<40mmHg；红细胞变形及碎片；血小板≤ $6 \times 10^9/L$ ，纤维蛋白原≤1.5g/L；纤维蛋白裂解产物≥10ug/ml。

(3) DIC 过程中有大量凝血因子被消耗，故在使用肝素后可输少量鲜血或血浆。

### 2. 抗休克改善微循环

(1) 多巴胺：能增加心肌收缩力，增快心率，选择性扩张肾血管，静点速度  $5 \sim 10 \mu\text{g}/(\text{kg} \cdot \text{min})$ 。

(2) 酚妥拉明：可与多巴胺同用，有抗休克、改善微循环、解除肺血管痉挛的作用，开始用量  $0.5 \sim 1 \text{mg}/(\text{kg} \cdot \text{次})$ ，以后  $1 \sim 2 \mu\text{g}/(\text{kg} \cdot \text{min})$  维持。此外还可以使用莨菪碱类药物改善微循环。

### 3. 中药

以活血化瘀为主，可用复方丹参液  $2 \text{ml}/\text{次}$ ， $1 \sim 2 \text{ 次}/\text{日}$ 。

### 4. 抗感染

宜选用有效、广谱、对肾功能无损害的抗生素。

### 5. 补液

为防止心衰、肺出血、高血糖，应以输液泵控制液速，总液量  $20 \sim 24 \text{ 小时均匀滴入}$ ，开始液量以  $60 \sim 80 \text{ mL}/(\text{kg} \cdot \text{d})^{-1}$  为宜，以后逐渐增加。如有休克、酸中毒应注意纠酸扩容，常用  $2:1$  等渗液，低分子右旋糖苷等。

### 6. 其他

①有人认为甲状腺能促进蛋白合成和糖的吸收、兴奋中枢、提高基础代谢率、升高体温，可短期用  $4 \sim 6 \text{ mg}/(\text{kg} \cdot \text{d})^{-1}$ 。  
②除有休克外不主张用肾上腺皮质激素。

## 第三节 新生儿 TORCH 感染

### 【概述】

TORCH 感染是指弓形虫、风疹病毒、巨细胞病毒、疱疹病毒及梅毒螺旋体等感染的总称。